

# 英語科学習指導案

Murasakibaru Junior High School

Class : 2-6 (20 boys and 20 girls)

Instructor : Ryoko Mikami

## 1 題材名 : NEW HORIZON ENGLISH COURSE 3, Unit 3 "Let's Learn With Computers"

### 2 題材について

新しい世紀を迎える、様々な情報が飛び交う中、その情報を簡単に迅速に入手する方法としてコンピュータの存在は欠かせない。生徒達も学校や家庭でコンピュータをいろんな方法で使い、コンピュータが生活に密着しつつある。そのような生活背景から、本課はインターネットによる情報交換の類似体験をねらった題材設定で、「外国における英語教育」というテーマで韓国とシンガポールを取り上げている。日本でも小学校からの英語教育が話題にのぼっている。他のアジアの諸国についても関心を広げたい。言語材料としては、不定詞の2つの用法を取り上げている。

課全体のタスクとして、「近隣のアジアの国の英語教育について知り、日本の英語教育についても考えてみよう。」を設定し、他のアジアの国々の事を学びながら、改めて、自分たち、日本の中学生の事を考える機会としたい。

### 3 本单元の目標

- (1) コンピュータを巡る話題について、基本的な表現を用いて積極的に相手に伝えようとする態度を育てる。
- (2) インターネットのメールを用いて、自分の気持ちや考えを相手に伝えることができるようになる。
- (3) 相手が伝えたい事を聞いたり、読んだりして話の内容を理解できるようにする。
- (4) インターネットを介し、同じアジアの国である韓国とシンガポールの英語教育について知り、日本の英語教育についても考える事ができるようになる。

### 4 「指導と評価の一体化」の工夫

学習指導要が改訂され、コミュニケーション能力の育成をいっそう強調し、評価においては絶対評価が導入された。それに伴い、教科書が改訂された。学年が上がるにつれ学力の差が大きくなるクラスの状況で、いかに生徒一人一人の学力をとらえ、その伸びを測り、学習を促すかが教師の万年の課題であろう。その対策として、教師や生徒自ら設定した目標をどれだけ実現できているかを知り、その結果を次の指導に結びつけ、学習者のニーズに応えていく必要がある。そのためには、指導と評価の一体化を図り、できるだけ評価をするための個々の情報を的確に収集し、生徒の学習状況を多面的に捉えられる評価方法を工夫していきたいと考える。

### 5 単元の指導計画・評価計画

- (1) タスク:「近隣のアジアの国の英語教育や日本の英語教育について自分の感想や考えを英語で書こう。」
- (2) 指導計画及び評価計画  
別紙資料参照

### 6 本時の実際

#### (1) 目標

他のアジアの国々の英語教育と自国の英語教育を知り、自分の感想や考えを書くことができる。

#### (2) 指導目標

- ① 既習表現や新出表現を用いて、自分の感想や考えを表現できるようにする。
- ② 既習内容を聞き取り、内容を理解できるようにする。

(3) 本時の実際

区分	主な学習の流れ	教師の活動	指導と評価の留意点 ○指導の留意点●評 □補説
導 入 ,	<pre> graph TD     Start([Start]) --&gt; Greeting[Greeting]     Greeting --&gt; WarmUp{Warm-up}     WarmUp -- No --&gt; Aim3[Aim of this period]     WarmUp -- Yes --&gt; Aux1[Aux.]     Aim3 --&gt; Listening4[Listening Activity]     Listening4 -- No --&gt; Aux2[Aux.]     Listening4 -- Yes --&gt; Aux3[Aux.]     Aux1 --&gt; Aux2     Aux2 --&gt; Aux3     Aux3 --&gt; Grouping5[Grouping]   </pre>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語で挨拶をする。</li> <li>前回までの単語を確認させる。</li> </ul> <p>学習目標の提示。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">       他のアジアの国々と日本の英語教育について知り、自分の感想を英語で書いてみよう。     </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文(P24, 25)の内容について書いた表をまとめさせる。</li> <li>その表についてのQ&amp;Aをする。</li> <li>補足情報としてマレーシアの学生からのメールを聞き取らせる。</li> <li>同じく日本の英語事情について表に書き込ませる。小学校でも英語の授業が行われ始めていることを紹介する。</li> <li>他のアジアの国々の英語教育事情を知り自分と同じ感想・意見を持った友達を探させる。</li> <li>グループ中で感想や考えを話し合われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語学習の雰囲気づくりをする。</li> <li>○学習意欲を高めるためにwarm-upからのつながりを大切にする。</li> <li>○グループ活動</li> <li>○新出単語を理解しているか。</li> <li>□個別に指導する。グループで協力させる。</li> <li>○本文の内容を理解しているか。</li> <li>●同じような表現を使ったメールを聞き取れるか。(Ⅲエ)</li> <li>○メモを取らせる。</li> <li>○小学校でも英語の授業が行われ始めている事を紹介する。</li> <li>●本文、またその他の情報をもとに他のアジアの国々と日本の英語育について理解しているか。(Ⅳエ)</li> <li>□Groupingすることで英語が苦手な生徒の苦手意識を取り除くようとする。</li> <li>○書くポイントを明確にさせる。</li> <li>○話し合いに積極的に参加しているか。</li> </ul>

	Useful expression 6	・本文などから得られる情報について、自分の感想を述べるときに必要な表現を確認する。	○新出表現を理解しているか。
	Writing Activity 7	・教科書のメールを参考に日本の英語教育についてやアジアの国々の英語教育についての自分の感想をまとめさせる。	●新出表現を使って、自分の感想や考えが伝わるようにまとめることができるか。(Ⅱエ) □活動が早く終わった生徒へは、内容を深めるように書く視点をさらに与える。
	Rewriting 8	・友達と読み合わせをして、推敲させる。  ② ②	●友達からのアドバイスや考えが正しく伝わるようにまとめることができるか。(Ⅱエ) ○相互評価を記入させる。
終 末	Consolidation 9	・本時の学習内容をまとめる。	○自己評価表を記入させる。
	Assignments 10	・宿習事項を確認させ、次時の予告をする。 ・英語でいさつする。	○メモさせる。
	End		

#### (4) 評価

他のアジアの国々の英語教育事情と自国の英語教育事情を知り、自分の感想や考えを書くことができたか。

### 7 成果と課題

#### (1) 成果

##### ① 教師の成果

本単元全体を通して、単元全体の目標を立てるときに、評価規準表を立てることにより、指導目的が明確になり授業中に行う活動やそれぞれのレベルにあった補助指導の計画がスムーズに行えた。単元全体を通しての4技能のバランスをとりながら授業ができた。個別の理解度を確認するため、できるだけ授業後に生徒の活動内容が残るように計画を立てた。また単元後のQ&Aは5問程度しか行ってないが、1クラス40名のクラスでも1単位時間で実施できた。実施するための必要な時間が確認できたので、次回から改善をしながら続けていきたいと考えている。

##### ② 生徒の成果

これまでの毎時間の授業全体の学習目標に付け加えて、個人目標を立てさせる時に、教師側がそれぞれの習熟度に応じた学習目標を示し、その中から自分で個人目標を選択せるように工夫した。その結果、授業中の活動も自分の習熟度にあったレベルの活動を選択し活動をすすめていた。また、自己評価の際も視点が明確なので、授業後の自己評価が困難なく行えたようであった。生徒が自分の理解度を知り、次に何が必要か考える目安になっているように思えた。

同じく、相互評価は大変取組がよく、行った後、活動の協力が良くなつたので、今後ももっと取り入れていきたい。

#### (2) 課題

単元全体を通しての困難を感じた点は、授業の中での評価項目の絞り方である。評価項目を絞って行わないと授業中の個々の理解度をみると難しいと感じた。また、生徒の理解度を確認するために行った、生徒の活動内容の作品を授業外の時間にいかに効率よく評価するか、ワークシート等の工夫の必要性を感じた。また、単元後のQ&Aは、ALTや他のT-Tの時に来られるJTEに協力をしてもらい、テスト中のコミュニケーションへの積極性や態度面まで1単位時間内で評価できるように工夫していきたい。

#### Q&Aの評価基準

Pint	
5	質問に対して、適切な答えを文で答えている。
4	〃 適切な答えを句で答えている。(文ではない)
3	〃 適切な答えを単語で答えている。
2	〃 日本語で答えている。
1	〃 不適当な答えをしている。または、全く答えられない。